

6年学級活動「言葉の受け取り方」

R3. 6 中村

ねらい:人それぞれ言葉の受け取り方が異なることを知り、言葉に対する見方を広げる。

まじめだね

おもしろいね

おとなしいね

変わってるね

マイペースだね

【工夫した点・意図】

児童に言われてうれしい言葉と言われたら嫌な言葉を1つずつ選ばせ、選んだ言葉とその理由を話させた。

自分の考えと異なる考えに出会わせることで、言葉に対する見方を広げられるよう指導した。

【学習の流れ】

- ①個人(書く)
- ②だんだんタイム(2人)
- ③だんだん発表(個人)
- ④個人で振り返り(書く)



【成果と課題】

○ 自分が言われてうれしい言葉が、相手にとっては言われて嫌な言葉である場合に出会うなど、言葉の見方を広げることができた。

△ 実生活の中で、よく考えて言葉を使うことができるかどうかを課題。本時の記録をファイリングしておき、適宜自分の言葉遣いを振り返らせるようにする。

課題意識

対話の活発さ

◎

思考の深まり

◎

スキルの習得

人それぞれにうれしい言葉やいい言葉がある。他人の事を知らずした。

人の感じ方はそれぞれだということもわかった。これから言葉づかいに意識してみようと思いました。

わたしがだんだんタイムで「何もない」と言った時に、「そんな深く考えなくていいよ」と言われました。でも、それを聞くと「次に頭が固いなあって言われそうだな」という考えと「はげますみたいな感じなのかな」という2つの考えが頭にうかんで、さらに深く考えることになりました。今日出ていた5つの言葉じゃなくても、2つの意味